

八、**内務大臣 安達謙藏殿**
資本家本位の産業合理化絶対反対の件
 総同盟はその全国大会の決定通り、各組合に指令し日常



全国紡織労働組合概況

総同盟所属の各紡織労働組合に依て結成されて三ヶ年、地域の關係にて未だ完全に産業別大組合として、全国的に其の覇を稱へ得ざる憾みあるも、漸次全国的單一組合として、統制あるものとすべく不敢取、關西地方に於ける大阪紡織、京都紡織、滋賀入絹、中部紡織、尼ヶ崎紡織、灘紡織に對し即時合同統一すべきを、吾が組合より勸告提議した結果、昭和六年十一月五日大阪土佐堀青年會館に於て各組合代表者會議を開き、吾が組合より代表出席、極力即時合同を主張し滿場一致大阪紡織を中心して、合同整理する事を可決した。

昭和六年五月十七日、大阪土佐堀青年會館に於て、大阪

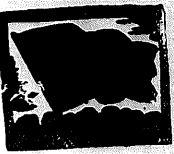
闘争を通じて勇敢に且強力に反對闘争を、全国的に展開し日常闘ひ續けてゐる。

紡織、尼ヶ崎紡織、灘紡織、滋賀入絹各組合よりの代議員出席合同大会を盛大に舉行した。名稱を關西紡織産業労働組合と稱し、同時に地域的には支部聯を組織す。

全国紡織労働組合加盟組合、紡織労働組合、關西紡織産業労働組合、中国紡織労働組合

役員
 組合長 西尾末廣 主事 富田繁茂
 執行委員
 大越半忠(東京)、赤松常子(東京)、齋藤勇(神奈川)、山田重太郎(静岡)、坂下良雄(愛知)、高橋幸平(岐阜)

文治(兵庫)、金光平(中国)
 會計 福岡金次郎



メーデー報告

昭和六年度メーデーに於ける吾が組合は、沼津支部を除き、他の組合に比較して甚しく不振であつた。其の原因、其の欠陥を徹底的に究明し、來年度のメーデーには、一大威力を發揮すべく一大努力せねばならぬ、次に各支部の参加人員及活動を記す。

沼津支部 四百八十名(内婦人三百名)参加
 支部單獨にて静岡縣下唯一の示威運動舉行、房南労働會館に集合、三島大社境内にて散會
 保土ヶ谷支部 休日操替を要求せしも、結局参加者の外出を認めしめ三十名(内婦人二十五名)参加、神奈川聯横濱支部聯統制下に横濱に参加
 川崎支部 七十名(内婦人二十名)参加
 総同盟、神奈川聯合會主催の川崎に於けるメーデーに

参加
 八王子支部 (加工分會を含む)、社民黨支部と協力し支部主催にて演說會開催
 橋場支部 参加人員二十二名(内婦人二名)
 請地支部 同 五名(内婦人〇名)
 香編支部 同 三十五名(内婦人三十名)
 友禪工支部 同 二十五名(内婦人〇名)
 龜戸支部 同 二十名(内婦人〇名)
 以上計一〇七名(内婦人三十二名)、東京に参加、龜戸支部のメーデー當日の公休の獲得は特筆すべきであつた。
 参加地 五ヶ所
 参加人員 六〇七名(内婦人三七七名)